

市長とランチミーティング⑭ 地域社会の発展、美しいまちづくりへ

第14回「市長とランチミーティング」は8月25日(木)に「八重山倫理法人会」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 ランチミーティングは市民の皆さんとの意見交換会、様々な要望等が行われる機会がありますが、今日は別の趣きで、ざつくばらんな意見交換をしてまちづくり等に反映したいと思いますし、いろんなアイデアが突発的に出てくればと思います。より良い石垣市をつくっていくための機会にしたいと思います。

**日本一幸せあふれる
まちづくり**

米盛会長 中山市長には当会の顧問として就任していただき、この倫理をよく知っている市長ということであれしく思っています。倫理を市政の中にも反映させていきたいとおっしゃっていましたので、その部分をぜひ、市長の考えを聞かせて下さい。また、私達にも何かお手伝いできることがあれば、という



ことで今日は伺いました。
中山市長 倫理法人会の皆さんとのランチミーティングということで、一つのイメージとして描いているものは、例えば、街中のゴミの散乱、子ども達を含めて、まちであいさつをしても

返ってこないことなど、いくつかあります。細々している部分ですが、「日本一幸せあふれるまちづくり」をつくるためにそういう基礎の部分をしつかり実現したいなと思っています。それは倫理の活動に直結するものですけどね。皆さん方の日頃実践されていることをどうやってまちづくりにいかしていくか、どうやってその考え方、思いを街全体に広げていくことができるのか、常々考えているところです。この点に関して何かアドバイスはありますか。

会員 私は子育てに接していますが、20代、30代の親、子どもがいるのではないかと思います。昔のその厳しさが薄れている中で、社会人が学べる場がどこにあるのか、という点で企業は、ただ利益を上げるだけではなくて、人材を育成するという職場が経営者に求められているのではないかと思います。ただ働くだけというこのご時世をどうにかしたいという思いから会社内に倫理の実践を行い「職場の教養」を朝礼に取り入れていきます。気づきの場ということが石

垣には薄いのではないのかと思います。

会員 私は2人の子どもの子育てをしていますけど、例えば、子どもと歩いている時に美崎御嶽で「パパこれ何」と聞くんですね。この御嶽の知識がなくて質問を返せない現実があります。自分が住んでいる街について知ることが大切だと思います。もし、可能でしたら大人向けの地元に対する勉強会みたいなものがあってもいいかなと思います。子ども達の学力向上を図るためには親が勉強をしていることを見せることが大切だと思います。市役所には市史編集課など詳しい方がたくさんいらっしゃると思います。その専門の方から土曜日の夕方とかに大人が地元のことにについて学べる場があればいいと思います。

吉村企画部長 石垣市には「ゆめみらい講座」という出前講座があります。

中山市長 自分達でグループを作って申し込むことができます。

宮良課長補佐 ゆめみらい講座は石垣市の歴史や財政等、様々な分野のテーマがあり、そこから選びます。依頼団体に職員を派遣して講座を行うものです。

米盛会長 これは朝6時からのモーニングセミナーに呼び出すことは可能ですか。

中山市長 時間を調整すれば、できるでしょう。

小さな活動の積み重ね

石川県副会長 大分県の倫理法人会で朝、児童生徒さんの登校時間に合わせて、あいさつ運動の旗を立ちきりして、あいさつしています。この活動は27年やっていくように、当初は学校の先生方は車で出勤して知らんぷりしてたようです。私が訪れた時は、車を止めて窓を開けてありがとうって行って行きました。子ども達も大きな声であいさつしました。こういう小さな積み重ねがいいのかなと思います。

米盛会長 石垣小や石垣中で地域を巻き込んでやっていますね。石垣中では新川字会の皆さんがあいさつ運動をやっていました。

中山市長 これは校門でやるのですか。

米盛会長 はいそうです。地域のつながりを良くするというのは、そういう活動は必要ですよ。横だけつながって縦に上下がつながらないということが地域の中にもあると思います。今、そういう活動がだんだんなくなっています。

漢那副市長 そういうことで地域力が弱くなって。むしろ、やるべきなんでしょうね。

会員 子ども達っていうのは、大人がやるとやり出すという現象もあります。

中山市長 皆さんの職場の方々は帰宅の途中など、街中に出た時に個人として、子ども達を見

た時に「こんにちわ！」とか言ってますかね？

会員 そうですよ（静か笑い）。
中山市長 倫理のことをわかっていて人達が個人個人で動き出すと、広がり早い気がしますね。

会員 モデル地区として範囲を決め、「あいさつ通り」として、あいさつをする訓練というのはどうですか。

漢那副市長 「あいさつ通り」がタクシーに乗っててもわかるようになると思います。

会員 入って、意外としくみを作られると、そのとおりやる場合が多いですからね。やりたいのはわかってはいるけど、動機付けが足りないものですか。

中山市長 このアイデア、ちょっともらってもいいですか。

石川県副会長 沖縄本島の私の会社付近の通学路で週1回清掃をしています。最初は子ども達に声をかけたら「何だろう」と引いていきましたが、今は向こうからあいさつしてきます。3年ぐらいやると変わってきます。継続することは大事です。

観光地・石垣島は…

会員 石垣市は観光地なので、風光明媚なところを観光客は観て回ります。その中で一番気になるのが、観光地や公園のトイレです。これは石垣市に限らず、どこの観光地でも同じだと思います。トイレが汚いという

ことで世界遺産に登録されない一因もあるようです。インターネットで八島町の緑地公園のトイレの外に便器が捨てられていた写真を見てびっくりしました。中国の桂林省や発展途上国ではトイレを衛生的にしようというところでトイレ革命を起こし、きれいにしています。石垣市からもトイレは清潔にきれいにしようという運動ができればいいなと思います。

会員 3年前でしたか、農林高校のトイレ掃除をしました。

米盛会長 ぜひ、八重山掃除まわる会を立ち上げていただきたい。石垣の会があります。

石川県副会長 まず観光地のトイレをどうするか、が課題ですね。昔、ボランティアでブラジルのトイレの掃除に行きました。公園のトイレを掃除しましたが、公園のトイレを掃除する公務員がいます。その担当者に「俺の仕事取るなよ」と言われました。行政上、トイレ掃除担当者の予算をつけるのは難しいですか？

漢那副市長 行革の時代で人間がどんどんスリム化、減らされている時代です。

中山市長 観光地も含めて管理公社に委託しています。トイレ等を点検する頻度を高めるしかないのかと思います。

会員 仕事で北部の方を車で走りますが、プロのドライバーの方達がたばこを捨てていくんですよ。それで提案ですが、プロ

ドライバーの会社やバス、タクシー会社をお願いし、「私達はポイ捨てをしません」「まちをきれいにしましょう」というステッカーを車両に貼ってもらうのはどうでしょうか。それをすることによって観光地を自分達が案内しているんだというプロ意識、イメージアップにもつながっていくと思います。

漢那副市長 レンタカーも入れるといいかもしれませんね。

会員 先月、南大東島に行く機会がありました。年間1500人の観光客だそうです。一番感じたのは石垣島が恵まれているということです。クルージングをしました。クルージングと違い漁船で海人も乗船しました。石垣は山あり海ありで、南大東島は何もないです。石垣の人は知恵を出さないで、観光資源だけでやっているのではないかと思っています。石垣島のありがたみを感じながらまちづくりをする、もつといいアイデアが出てくるんじゃないかと思っています。皆さんも違う離島に行ってみたらと思います。

中山市長 今いただいた意見の中で、いくつかできそうなものがありましたので、早速検討してみたいと思います。企業で倫理に取り組むところがあつたら職員の皆さんが積極的に街中で実践すると効果的だと思いますので、スタッフの方々にも声かけをお願いします。今日はありがとうございました。